12月定例町議会 一般質問

本定例会では、5議員から来年度事業計画など17項目にわたる広範囲な質問がありました。

今回、その概要を紹介します。

組織改革で環境保全対策を強化

空き地の枯草

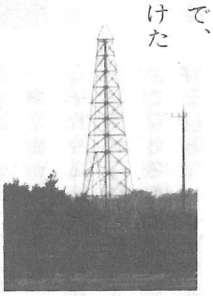
問　投機目的で購入した土地などが荒れ地のまま放置されている。枯草でおおわれ、火災の危険がいっぱいだ。対策は。

答　62年度所有者あて文書を発送したところ、町外百七十件のうち刈り取りを実施したのは五十六件であった。十一件は所在不明である。衛生関係は少人数で多くの問題に対応している現状があるので、行政組織の改革から手掛けたい。

ガス井戸は増やさない

開発されたがこれでは…

ガス井戸(屋形：右)



地盤沈下

問　①町の地盤沈下の状況を伺いたい。

②沈下の原因は天然ガスの採集に伴う地下水の汲み上げだといわれている。天然ガスの採集が続く限り地盤沈下は永久に続くと思うが対策は。

③採集される天然ガスの大半が茂原方面に送られている。LPガスよりずっと経済的な天然ガスを、町内の一般家庭用に使えないか。

答　①48年から8地点で測定調査を行っている。63年度の調査結果(62年1月から63年1月までの数値)は10㎜前後となっている。②ガス井戸の許可権は通産省であるが、掘削する場合、業者は知事と町の承認を得るようになっている。現在は厳しい規制をもって国や県が対応している。町内に13本の井戸があるが、これ以上増やさない方針で対処したい。

③価格のみでみた場合には有利なようだが、職員の配置、各戸の加入金、工事に係る町の負担等問題が多い。試算すると75%の世帯が加入しなければ採算がとれない。デメリットをメリットにかえる方向を検討したい。

地下水汚染

問　有機塩素系溶剤トリクロロエチレンによる地下水汚染が問題となっている。町の実態は。

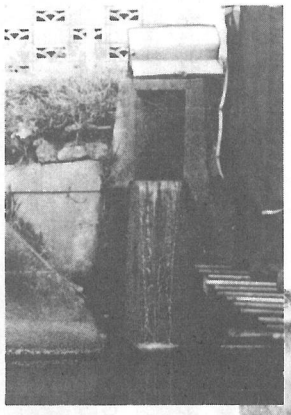
答　問題の溶剤の使用が予想される金属加工業、クリーニング業30店を保健所が調査した結果、一切使用されていなかった。その他電子部品の製造業など15社の内5社については、聴き取り調査したところ使用していない旨の回答を得たが、専門知識がない職員では確認は困難である。今後十分注意し、汚染が発生しないよう県の指導を得て指示していく。

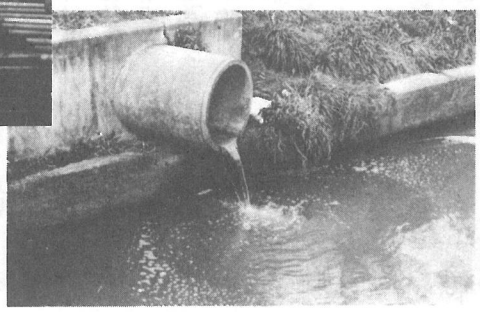
有害廃棄物

問　使用済の医療器具による事故が起きているが、町は廃棄処分の方法をどの程度把握しているか。また、管理責任はどの程度認識しているのか。

答　医薬品の回収は、町では行っていない。医療機関等では、専門業者が回収にあたっていると聞く。

一般家庭から出る農薬のビンなどは、よく洗浄して出すよう指導したうえで回収を行っている。一般に使用されているもので有害な物質が出る疑いがある場合には、回収の方法等について検討したい。





栗山川や排水路に流れ込む家庭雑排水